

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年8月2日(2012.8.2)

【公開番号】特開2010-214050(P2010-214050A)

【公開日】平成22年9月30日(2010.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-039

【出願番号】特願2009-67607(P2009-67607)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 3 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 1 F

A 6 3 F 5/04 5 1 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月19日(2012.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

当選役抽選を行って複数種類の当選役のいずれかまたはハズレを決定する当選役決定手段と、図柄の可変表示を行い、停止表示する図柄によって当選役抽選の結果を報知する第1可変表示部と、当選役抽選の結果に基づいて図柄の可変表示を行うことによって遊技を演出する第2可変表示部とを備え、開始操作に伴って当選役抽選を行うとともに、第1可変表示部と第2可変表示部との可変表示を開始させるスロットマシンにおいて、

停止操作に応答して前記第1可変表示部の可変表示を停止させる停止操作有効モードと、前記停止操作に応答しない停止操作無効モードとで前記第1可変表示部を制御する第1制御手段と、

前記停止操作に応答して前記第2可変表示部の可変表示を停止させる第2制御手段と、前記当選役抽選の結果に基づいて、前記第1制御手段を前記停止操作無効モードへと移行させる停止操作無効化手段と、

前記停止操作無効モード中に前記停止操作されて前記第2制御手段によって前記第2可変表示部の可変表示が停止された状態で前記開始操作された際に、前記第2可変表示部の可変表示を再開させる可変表示再開手段と、

前記第2可変表示部の可変表示再開が所定回数行われた際に、前記第1制御手段を前記停止操作有効モードへと移行させる無効化解除手段とを備えたことを特徴とするスロットマシン。

【請求項2】

演出抽選を行って前記第2可変表示部の可変表示を再開させるか否かを決定する演出決定手段を備え、

前記演出決定手段は、前記開始操作に伴って前記演出抽選を行うことを特徴とする請求項1記載のスロットマシン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

スロットマシンは、外周に複数種類の図柄が配列されたリール（可変表示部）、当選役抽選を行って複数種類の当選役のいずれかまたはハズレを決定する当選役決定部、遊技を開始する際に操作されるスタートレバー、リールを停止させるためのストップボタンなどを備えており、メダル投入口にメダルを投入したりベットボタンを操作することによってメダルをベットした後、スタートレバーを押下することで遊技を開始できる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

遊技が開始されると、リールの回転（可変表示）が開始されるとともに当選役抽選が実行される。そして、リールが停止されたときに、当選役抽選に当選した当選役に対応する図柄が表示されてこの当選役が入賞となると、入賞した当選役に対応付けされた処理が実行されて、1回の遊技が終了する。また、リールが停止されたときにいずれの当選役にも入賞していない場合は、リールの停止により1回の遊技が終了する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

一般に、スロットマシンは、液晶ディスプレイやスピーカなどの演出装置を備え、演出装置を制御（液晶ディスプレイに各種演出画像を表示したりスピーカから各種演出音を出力）して遊技を演出している。また、スロットマシンのなかには、上述したリール（以下、メインリール（第1可変表示部））の他に、演出用のサブリール（第2可変表示部）を備え、このサブリールにより遊技を演出するものもある（下記特許文献1参照）。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するために、本発明のスロットマシンは、当選役抽選を行って複数種類の当選役のいずれかまたはハズレを決定する当選役決定手段と、図柄の可変表示を行い、停止表示する図柄によって当選役抽選の結果を報知する第1可変表示部と、当選役抽選の結果に基づいて図柄の可変表示を行うことによって遊技を演出する第2可変表示部とを備え、開始操作に伴って当選役抽選を行うとともに、第1可変表示部と第2可変表示部との可変表示を開始させるスロットマシンにおいて、停止操作に応答して前記第1可変表示部の可変表示を停止させる停止操作有効モードと、前記停止操作に応答しない停止操作無効モードとで前記第1可変表示部を制御する第1制御手段と、前記停止操作に応答して前記第2可変表示部の可変表示を停止させる第2制御手段と、前記当選役抽選の結果に基づいて、前記第1制御手段を前記停止操作無効モードへと移行させる停止操作無効化手段と、前記停止操作無効モード中に前記停止操作されて前記第2制御手段によって前記第2可変表示部の可変表示が停止された状態で前記開始操作された際に、前記第2可変表示部の可変表示を再開させる可変表示再開手段と、前記第2可変表示部の可変表示再開が所定回数行われた際に、前記第1制御手段を前記停止操作有効モードへと移行させる無効化解除手

段とを備えたことを特徴としている。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

演出抽選を行って前記第2可変表示部の可変表示を再開させるか否かを決定する演出決定手段を備え、前記演出設定手段は、前記開始操作に伴って前記演出抽選を行うものでもよい。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上扉14aには、第1表示窓16、第2表示窓18が設けられており、第1表示窓16の奥には、当選役抽選の結果を報知するためのメインリール(第1可変表示部)20が配置されている。また、第2表示窓18の奥には、演出用のサブリール(第2可変表示部)22が配置されている。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

図2に示すように、スロットマシン10の内部には、スロットマシン10を統括的に制御する制御部(停止操作無効化手段、無効化解除手段)50が設けられている。制御部50には、前述した当選役抽選を行う当選役決定部(当選役決定手段)51の他、メモリ52、メダルセンサ54、スタート信号センサ56、ストップ信号センサ58、表示図柄決定部60、演出決定部62、メインリール制御部(第1制御手段)64、サブリール制御部(第2制御手段、可変表示再開手段)66が接続されている。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

演出決定部(演出決定手段)62は、演出抽選を行って、サブリール22を連続回転態様で回転させる連続回転演出を行うか否かを決定する。演出決定部62には、連続回転演出を行うと決定される確率が高く設定された第1抽選テーブルと、連続回転演出を行うと決定される確率が低く設定された第2抽選テーブルとが記憶されている。そして、演出決定部62は、当選役抽選でBが決定されたときは第1抽選テーブルを用いて連続回転演出を行うか否かを決定し、当選役抽選でBが決定されなかったときは第2抽選テーブルを用いて連続回転演出を行うか否かを決定する。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 2 】

- 1 0 スロットマシン
- 2 0 メインリール (第1可変表示部)
- 2 2 サブリール (第2可変表示部)
- 2 5 ベットボタン
- 2 6 スタートレバー
- 3 0 a、3 0 b、3 0 c ストップボタン
- 5 0 制御部 (停止操作無効化手段、無効化解除手段)
- 5 1 当選役決定部 (当選役決定手段)
- 6 2 演出決定部 (演出決定手段)
- 6 4 メインリール制御部 (第1制御手段)
- 6 6 サブリール制御部 (第2制御手段、可変表示再開手段)